

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長崎県立大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガサキケンリツダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F142210111196
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	長崎県
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	公立大学
	科目名	企業インターンシップ
	学部・研究科等名	国際社会学部国際社会学科
	担当教職員名・役職	森田 均・教授
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	56
	受入企業等数	24
	受入企業等名	株式会社長崎新聞社、株式会社長崎ケーブルメディア、株式会社コミュニティメディア、株式会社テレビ長崎、公益財団法人長崎ミュージアム振興財団(長崎県美術館)、長崎歴史文化博物館、独立行政法人日本貿易振興機構長崎貿易情報センター(ジェットロ長崎)、浜屋百貨店、株式会社プレミア・ニュー長崎、株式会社リオ・ホテルズ北海道THE GLOBAL VIEW 長崎、一般社団法人長崎県観光連盟、長崎県営バス観光株式会社、長崎電気軌道株式会社、株式会社グラバーヒル(ANAクラウンプラザホテル長崎グラバーヒル)、株式会社メモリード(ガーデンテラス長崎)、長崎空港ビルディング株式会社、株式会社ミカド観光センター、公立学校共済組合長崎宿泊所セントヒル長崎、長崎市、長崎県、長与町、大村市、長崎県町村会、長崎県中小企業団体中央会
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	長崎県内の企業や官公庁においてキャリア形成支援活動を実施することにより、学びから就労へのイメージを構築するため、受入先の業態に応じた業務を社員とともに行う。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	3.当該キャリア形成支援活動は、専門教育科目として実施している 4.当該キャリア形成支援活動は、必修科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位

項目	確認事項	届出内容
	2-5.上記回答内容に関する詳細	3年生を対象に、夏期休業期間中の2週間の就業体験を組み合わせた学科専門科目「企業インターンシップ」として実施している。本科目では、職業体験を通して、仕事への理解を深め、また、研修中に発生する課題にどう対応するのか、その能力を醸成する。単位認定においては、2単位を付与している。
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップの就業体験実施期間中または期間後に、教職員が企業等に赴き、担当者等と面談を実施している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	キャリア支援業者によるマナー講座および事前準備、参加中の注意点などを対面で一回講演いただいた。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	業種によりグループ分けをしており、グループ担当の教員とインターンシップ終了後に振り返りを実施した。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップの就業体験実施期間中または期間後に、教職員が企業等に赴き、担当者等と面談を実施している。	
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入企業に評価してもらっている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	企業担当者に7つの評価項目と総合評価の達成状況について5段階で評価を依頼している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	10日間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	同一企業において、就業期間実質10日間(2週間)のプログラムとして実施している。

項目	確認事項	届出内容
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	<p><2022年度> ケーブルテレビ局で実習した学生が地域情報に関する短編映像を制作して番組の中で繰り返し放映された。</p> <p><2022年度> 長崎市役所・長崎県庁・長崎県観光連盟などで実習した学生が長崎県MaaS導入にあたって県庁政策企画課・JR九州・長崎バス・長崎電気軌道と共に実習後に学内でワークショップを実施し、MaaSの実運用に寄与した。</p> <p><2023年度> JICA長崎で実習した学生が韓国向けECサイト構築のために調査した成果や体験を元に外務省の日韓学生交流プログラムに参加し、引き続き現地で調査や文化交流を行い、学内、学外で成果報告を行った。</p>
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受入企業に御理解いただき、出来るだけ企業の負担を抑えるために簡潔な評価票の記入をお願いしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.sun.ac.jp/ext_syllabus/syllabusReferenceContentsInit.do;jsessionid=CGF5eOm5RcSLWgOBnkEybx_fROCdsf5dPC2qeUz6?subjectId=048600032143&formatCode=1&rowIndex=0&jikanwariSchoolYear=2023&pushScroll=extSyllabusList&keepScrollX=0&keepScrollY=0
問い合わせ先	大学等名	長崎県立大学
	担当部署名	学生支援課教務グループ
	担当者役職名	課長補佐
	担当者氏名	福野 健二
	電話番号	095-813-5065
	メールアドレス	kvoumu-g@sun.ac.jp